

第6回利根町小中学校適正配置等調査検討委員会 議事録（要旨）

- 1 日 時 平成30年6月27日（水）19：00～21：00
- 2 場 所 利根町役場4階A会議室
3. 出席委員（8名）

会 長	岡 賢市	委 員	中澤 則明		
委 員	船川 京子	委 員	大越 伸江	委 員	大竹 正人
委 員	花嶋 洋子	委 員	仲田 義弘		
委 員	浅野 恵次				
4. 欠席委員（2名）

副会長	川村 啓三	委 員	近藤 敬一
-----	-------	-----	-------
5. その他出席者 な し
6. 事務局

学校教育課長	大越 克典	指導室長	直井 由貴
学校教育課課長補佐	弓削 紀之		
学校教育課係長	布袋 哲朗		
学校教育課係長	大貫 浩希		
7. 会議次第
 1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 事務局説明・意見交換
 - （1）第6回検討委員会資料
 1. 小学校統合時の施設等に関する問題点・対応案
 2. 問題点に対応するための経費（見込み）
 3. 統合時の跡地利用について
 - （2）次回の日程について
 4. その他
 5. 閉会
8. 議事

1. 開会

○事務局 ただいまより、第6回利根町小中学校適正配置等調査検討委員会を開催いたします。

2. 会長挨拶

○会 長 こんばんは。この検討委員会をスタートした時に、だいたい8回くらいであるという説明がありましたが、今日で、もう6回目になってしまいました。あと3回で、どうにか決着を付けないといけない。そのうち2回は、まとめの段階になるので決着を付けたら今日当たりかもしれないので、慎重な審議とご意見をいただければありがたいと思います。

この間、総理府が出した資料を見ていましたら、30代までの日本人の男の子、その30代までの男の子を採用する企業がない。これはもの凄く大きな教育の問題ではないかと思うのです。日本人だけが平均からマイナスのところあって、「これは一体なんだろうか」と思いましたが、男の子が相当しっかりしないと日本の企業の中からも本当に干されてしまうのではないかとそういうことが出ておりました、非常にショックを受けてまいりました。

二つ目にアンケートの中に出ていたのが、各地区に自治会があると思いますが、その自治会を脱退する人達が極端に多くなってきている。大都市になればなるほど東京なんかは自治会に入っている人は、17%、18%です。そうすると、入っていないから近所付き合いが一つもないので、老人の孤独死がもの凄く増えて来ている。亡くなってからも発見できなかったということがあり、これも大きな問題です。だから、学校の仲間とずっと一緒に成長していくと「あの人は、あういうことをしている、こういうことをしている」という繋がりが凄くできてくるので、そういう意味では、学校で、できるだけ大勢の人と交じり合いながら成長していくということは、大事なことではないかなということを感じました。

それから、三つ目は余計なことかもしれませんが、どこも同じですが人口がどんどん減ってきてまして、2090年には、日本の人口は8,400万人くらいになってしまいます。そうすると、今も段々その傾向に陥ってきていますから、学校が段々なくなってきています。具体的な数値は挙げられないですけども統合廃合の状態が続いておりました利根町の現状

と同じようなことがやっぱり各地区で起こっています。人口減ですから仕方がないと思うのですが、そういう現象の中で、一つの町の学校がなくなるとは非常に大変なことだと思いますので、この学校を維持していくためには何をしなければいけないかを真剣に考えていく必要があるのかなと思います。今、私が言ったようなことは、この問題に入るような内容ではありませんが、意識して考えていくことが大事ではないかと思うのです。今日は、最終的には、ある程度結論の方向に持っていきたいと考えておりますので、ひとつよろしくご協力をお願いしたいと思います。

3. 事務局説明・意見交換

○事務局 それでは、事務局説明、意見交換に入りたいと思います。ここからは、会議の進行を岡会長にお願いしたいと思しますのでよろしくお願いたします。

○会 長 それでは、事務局の方から会議の資料を基に説明をお願いいたします。

○事務局

第6回会議資料の説明

1. 小学校統合時の施設等に関する問題点・対応案
2. 問題点に対応するための経費（見込み）
3. 統合時の跡地利用について

○会 長 ありがとうございます。非常に分かりやすく具体的に資料をまとめていただきましたので、まず皆さん資料について質問がありましたら出していただきたいと思います。

○委 員 布川小学校の職員駐車場のお話しの中で感じたのですが、体育館の通路の真ん中を通して南側に行く訳ですね。そうしますと、子ども達の登校時間よりも早く職員は、車を通さないと子ども達と一緒にになってしまいます。その点はどうか気になりましたのでお伺いします。

○事務局 基本的には、そこを通っていただいて職員駐車場に停めていただくようになりますので、遅くなる職員につきまし

ては、今使っている駐車場を残しますので、その一部を使っていたることを考えています。

○委員 文小学校の場合、バスの駐車場は公民館の駐車場を借用するということですが、公民館の催し物は土、日がほとんどだと思いますが、催し物があるような時に無理なくバスが駐車できるのか心配があります。

○事務局 今回の段階では、生涯学習課長と公民館の担当者と可能かどうかの話しをしましたが、駐車場を広く整備しますので文小学校に近い方であれば問題ないとの回答はいただいています。

○委員 舗装はされるのですか。

○事務局 舗装される予定です。

○会長 他にないでしょうか。

○委員 3ページの布川小学校の普通小教室（案③）の放課後児童クラブの施設を多目的室として活用するということで現場対応についてお尋ねしたいのですが、放課後児童クラブとして活用している時間に、多目的室としての活用ニーズはないのでしょうか。そういうことは起こり得ないのでしょうか。

○委員 放課後まで多目的室を使うことはありません。
会議等で使うことはあるかもしれませんが、特別教室（図書館等）がありますので、子ども達の活動だけを考えても問題ありません。

○会長 本当に納得が行くような形で進めたいと思います。
布川小学校になった場合でも、文小学校になった場合でも、こういう問題があるのではないかとということがあったら出してください。

○委員 今、公民館駐車場の工事をしてはいますが、文小学校に近

いところがバスの乗降場になるのですか。横断歩道を設置するといったときに公民館駐車場と図書館のところには横断歩道があったなと思うんですが。

○事務局 図書館の前のところに横断歩道が一箇所ありまして、文小学校からその間にもう一つ通路があります。そこに横断歩道をつけてしまいますと横断歩道が二つ並んでしまい、あまりにも近すぎてしまうので、もし文小学校に統合するのであれば、手前の一番近い箇所に横断歩道を設置しないと逆に近すぎて危ないのかと思います。

○委員 公民館と図書館の今ある横断歩道を渡って子供たちが歩く距離が長いということで手前側に設置するという事ですか。

○事務局 そうです。手前の方（学校側）にしないと、バスが真ん中（公民館、図書館前）を停まってしまうと、イベントができなくなってしまうと思います。ですからあくまでも学校に近い方の駐車場を空けてもらうという考えで案を出しております。

○委員 ひとつ気になる場所ですが、校舎前は、今、車の往来というのはどれくらいあるのですか。

もし、車の通過が多いときはボタン式信号機を設置しないと子どもの安全が守れないですね。

○事務局 車の往来の台数までは、把握しておりませんが、スクールバスを利用する子どものほうが多くなると思いますので、その辺はやっぱり考えていく必要があると思います。

○委員 文小学校にした場合、事業費概算で約4億円という積算をしているのですが現実可能なのですか。

○事務局 検討委員会の会議資料として提出し、その中で議論し答申を出していただきますので、最終的決まれば、予算的な面は財政課に話をさせていただき可能になるよう訴えていくということでしか現時点ではお答えは出来ません。

○委員 実際にお金との関係もかなりあると思うのですが、やはり場所として考えるのであれば文小学校辺りが一番いいと思います。今までの流れで布川小学校ということをおも思っていたのですが、予算との兼ね合いもかなりあると思いましたがので質問させていただきました。

○会長 私からの提案ですが、どちらの学校に統合しても億という単位のお金はかかるんです。私達が3億円出してください、4億円出してくださいと簡単に言える内容ではないような気がします。

せつかく揉んできて、この財政、財源との関わりの中で、答申を出してもお金がないから出来ませんと言われたら終わりです。だけど、多少お金がかかっても、子ども達のためにやってもらいたいということで、私達の案としては、布川小学校という線と文小学校という線の二つを出してみたい。

そして、財政的な案を十分に吟味していただいて、あるいは、教育委員会の方で私達が答申したものに対して練っていただいく訳ですから、その中で4億円かけても文教地区だから文小学校に統合した方がいいとか、いろんな意見が出てくると思うので、私達の方針としては、文小学校と布川小学校の両方を財政の面から判断して決めてほしいという形でよろしいでしょうか。そうするしかないような気がするんです。

○委員 小学校3校を1校に統合した場合に、今後10年、20年とそこでやって行く訳ですよ。億という単位のお金は凄く大きなお金ですけど、長い目を見た場合に4億円と2億円ってそんなに差がないような感じもしないでもないんです。

個人的な見解ですけど、学校の場所というのは、結構大きいと思うんです。だから、中心的な文地区にある文小学校というのが個人的には良いんだろうなと思います。今までは布川小学校だろうなと頭の中で考えていたのですが、この予算を見たときに布川小学校で2億円くらい掛かってその倍くらいの金額でそれなりの校舎が建つのであれば、

文小学校のその校舎も余裕が出来てくるんですよね。ですから長い目で見たときにはやはり町の中心辺りに持ってきた方がいいのではないかと思ったりもします。

○会 長 分かります。私も布川小学校を見に行ったら後でも、文小学校のの校舎はまだまだ十分使えるなというふうに思っていたんですが、金額的にそう変わらないで、しかも、布川小学校に統合したら町の一番南になってしまう。文小学校だと町の大体中央にあるということ、それから、中学校が非常に近いということ、そういうことから考えても文小学校の線というのは良いのではないかと思ったんです。

でも、どうしても4億円という金額は、非常に引がかかっていて、考え方によってはお金のことを私達が言っても仕方がない訳ですから二つの案を出して選んでもらうしかないのかなと思っています。

平成35年に適正規模ということで考えてきましたが、後2年延ばせば布川小学校へ改造しなくても入れるようになるんです。

○委 員 賛成です。私もその辺を計算してきたんですが、今、会長がおっしゃったようにそれもひとつの選択肢だと考えています。ただ児童数を考えますと複式学級の16名という一つのラインがありますので、3つの学校の区域を考えてみるとかして子どもの数を調整していかないと現実問題は難しいと思うのです。

結論から言うと私は文小学校統合に賛成派なんですが、現実問題はやはり布川小学校に統合しないと町としては厳しいのかなと思っています。その上で、平成35年度に入学する文小学校1学年の児童が少ないので、翌年度には複式学級になってしまうと思うので、この現場の調整が出来るのであれば2年延ばすことは可能だと思いますし、そうすると新たに造った教室が、その後空き教室になって物置化していく可能性もあると思うので、2年延ばすことによってこの増築工事の部分が削減できるのであれば、放課後児童クラブの人数はちょっと不透明ですが、それが可能であるならば一つの選択肢として検討の余地はあるのではないかと思います。

○会 長 ありがとうございます。その辺も答申の内容の中に織り込ませていただきたいと思います。

文部科学省が示す適正規模・適正配置という視点からは崩れ、その辺もまた基本的なところへ戻って検討をしていかななくてははいけない場合もありますが、それも一つの案という形で考えて行く必要があるのかと思います。

○委 員 以前の小中学校の統廃合のときに、結果的には、旧利根中学校は日本ウェルネススポーツ大学に活用はされたんですが、旧東文間小学校は何にも利用されずに12年間放置されています。地元に住んでいる人間としては、非常に悲しいのと同時に何で利活用を先に決めなかったのかなと思うんです。要するに、今回も小学校が統合されれば、文間小学校が何に利用されるのかということだと思うんですが、勿論、統合するのは大事なことなのですが、その前にやはり跡地利用についても考えてほしいと思います。確かに利根町の立地条件、地理的に非常に難しいということは正直あると思うんですが、そこら辺は町としてもいろんなところに打診してもらって、例えば河内町は、ドローン教習所に学校跡地が使われていたり、全国的には、民間に売りに出されたところもあると思うので、利根町でも、そういう跡地利用があるのではないかという気がしています。

○会 長 ありがとうございます。9ページに「統合時の跡地利用について」書いてあります。それで、次の段階で議論しようかなと思うんですが、例えば、布川小学校に統合したとして、文小学校と文間小学校を、文小学校に統合として布川小学校と文小学校を売るとなると、どれ位になるかわかりますか。

○事務局 まず、不動産鑑定を入れてからでないとも金額の方は分からないです。

○会 長 今、産業の方でも町の活性化とか将来性とかを考えたときに、この廃校になった跡地をどうするかということも一つの課題になってくると思うんです。私達は、これを売ると

か、福祉施設にするのか、また他に利用方法はないかということも一つの案として出せば良いと思うので、意見があったらお願いします。

○委員 跡地利用について、私それほど詳しくないですし、全然分からないんですが、学校は、学校としての利用価値しかない感じなんですか。ここに大学とか専門学校の施設として売却していくという形になるんですか。

○事務局 先程、用途変更の話が出たんですが、県の許可が必要になってくるので、その辺は許可次第になってきますが、教育施設でしたら同じ学校ですので、許可というのは緩やかなのかなと思います。

○委員 跡地利用についての意見と言われても、償還金も関係してくると思います。町で利用するのか、売却すると一括して償還金を払わなくてはいけないとか、いろいろなことが関係してくるので、今、事務局から説明があったように、地目変更のこととか、これまでのいろいろな対応とかを考えたら選択肢が狭まり難しかったりする部分があると思います。

○事務局 償還金のことなんですが、第3回の検討委員会資料の中に学校施設の借入償還金残額一覧を載せているんですが、この金額は、あくまでも起債ということで借金ですので、この分につきましては、統合して学校施設ではなくなった時点で一括償還になります。

○委員 ですから、この辺も関わってくるので、布川小学校の借入金額が一番高いんです。2億4千万円ですから文小学校に統合した場合は、文間小学校分と合わせて、約4億円返さなければならなくなってしまいます。

先ほど、会長もお金の面も考えてとおっしゃったので、実は、今の利根町は本当だったら子供の教育を第一に考えたら文小学校が望ましいかと思うんですが、お金のことを考えて現実問題、やはり布川小学校かなと思っています。それもできれば統合も2、3年延ばしていただければと考

えてきました。

○会 長 全く関係ないことだけど、この利根町には企業を招致するようなそういう条件はできないところなんですか。

○事務局 可能性ということではゼロでなないんでしょうが、限りなくゼロに近いのかなと思います。

○会 長 原因としてはどんなものがあるんですか。

○委 員 一番は、都市計画法の網と、後は団地内はインフラ整備がされていますが一步でたら厳しいので、その二つが大きな要因だと思います。例えば、大型の企業が来るとして、現役世代もいますし、企業でトラックなどの車が通るので必然的に広い道路が必要でしょうし、国も県も放って置かないと思いますが、都市計画法の網がかかっている団地外のインフラ整備がされていなければ大型の企業招致は難しく、それが一番の要因だと思います。その辺がうまく解消していけば道がない訳ではないと考えています。

○委 員 過疎地域に指定されたことによって、そういう要因の特例的なものって生まれてこないんですか。

○事務局 特例については、過疎地域に指定されたことによって、過疎債という借金ですけども借りることができまして、地方交付税に算入されますが、借金には変わりはありません。

○会 長 ここで皆さんにお聞きしたいと思います。

一つは、統合という問題を必ずしも布川小学校に限定しないで、布川小学校或いは文小学校のどちらかに統合するという方向を出していいかどうか一点。

それから、2点目は、これが非常に難しいことなんですけど、先ほどから話があったように、統合を2年間先延ばしにすれば建物の改造が比較的安く済むかもしれない。そうすると適正規模・適正配置ということから、最初のスタートの段階から崩れてしまうということにもなりますが、その辺も考えてみる必要があるのかなと昨今思い出したとこ

ろです。そういうことで、一応どこの学校を選んでも最終的には統合していけるというふうな答申案を作ってもよろしいでしょうか。皆さんに検討してもらって、それしかないような気がしています。

○委員　　今、会長がおっしゃったのは、その三つの案を並列で並べて答申するということですか。

○会長　　並列にするのは、文小学校か布川小学校に統合することで、借金の返済などの問題や改修費の問題などで、2年先延ばしという案も出てくるのかなと思いますので、その3案くらいにもってきたいと思っています。

結局、最後はお金の問題になってきますから、文小学校にするか布川小学校にするかは教育委員会サイドで、きちっと考えてほしいのです。

○委員　　でも、そこまで考えて答申をしてほしいから数字の資料を付けてきているのではないかと私は思うので、2年くらい延ばして増築の必要がない布川小学校で償還金が一番高い2億4千万円が現実問題としては望ましい気がするんですが、子どもの学力とか教育環境を考えたら文小学校が一番望ましいとは思いますが。

しかし、現実問題を考えると布川小学校で、多分、平成35年度までしか子供の推計資料がなかったもので、平成35年度という話で進んできたんだと思うんですが、これが平成36年、平成37年の見込み数が載っていれば議論の方向も違ってきたのかなというふうに思っているんで、個人的な意見を言わせていただければ、2年若しくは3年延ばして布川小学校に統合するのが、全体的に考えたら増築もしないで済むので一番良いのかなと思っています。

文小学校にした場合に一括して返済する布川小学校の2億4千万円と文間小学校の1億5,600万円の計約4億円はかなり大きいと思っています。

○会長　　ありがとうございます。ただ、本当に心配なのは、子ども達が沢山いて最終的には、この年度が限界だというのがあれば良いのですが。

- 委員 現実，子ども達の通学区域をちょっと調整して，子供の人数が複式学級のボーダー16人にならないようにするということはできないのでしょうか。
- 事務局 学区の変更につきましては，学区の審議会というのが有りまして，そこに諮問するようになります。答申をいただいてから教育委員会で決定します。今回の調査検討委員会と同じように会議をして，学区の変更，決定の答申をするようになります。
- 委員 学区の変更は，非常に難しくて多分やっていたらとっくに文小学校と文間小学校の問題はなかったと思うんですが，実際，学区の変更をやるとなるとそう簡単にはいかないと思います。
- 委員 そうすると，もう複式学級にするしかないので，平成35年とには統合しないという結論になりますよね。
- 委員 前に統合したときには，複式学級というのはなかったんですか。
- 事務局 東文間小学校では，複式学級がありました。
- 会長 だから，平成36年度に統合という段階に持っていったとしたら，文小学校の1学年は4人なんです。
- 事務局 東文間小学校は，統合前は55人で5学級でした。
平成18年度，平成19年度は5学級ですので，間違いなく複式学級になっていますが，それ以前は，6学級ですので複式学級になっているかは分かりません。
- 委員 このまま（3校のまま）にしておくのが一番いいかもしれないですね。
- 会長 その辺の意見はスタートのときからあったんですが，適正規模と適正配置という視点から文部科学省が言っている本当に子ども達をたくましく育てようという視点からいったら必

要なんだろうということで35年を目安にした訳ですよ。

○事務局 1年生の場合は8人いれば複式にならないんですが、2年生以上は、2学年あわせて16人になると複式学級になります。平成36年度には、1学年ずつ上がって2年生と3年生になりますので、複式学級になります。

○委員 それが理由になるのではないのでしょうか。文小が複式学級になるということで、あとは三校を一校にすれば当然経費はどのくらい抑えられるか分からないですけど抑えられると思いますので。

○委員 経費が一番少なくて済むのは布川小学校なんですけど、1年か2年待てば増築しなくて済むので、この4千3百万円若しくは3千百万円を増築をしなくて済むというのは魅力なのかなと思ったので、文間小学校のお子さんが何人か文小小学校に来てくれたら、もえぎ野台のお子さんが何人か来てくれたらどうなのかなとういことを考えてきたのですが。

○事務局 今現在は、一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目が文間小学校区となっています。ただ、先程言われましたように指定学区変更といたしまして、ある一定の理由があった場合には柔軟に取り扱えるというものがあります。

○会長 同じ地区で二つの学校に分かれるというのは、本当に辛いんですよ。子どもが分かれるだけではないですからね。何回も言いますが大人も分かれるので、私は自治会長していますがまとまりがつかない。本当は文小小学校なら文小小学校に、文間小学校なら文間小学校に一つの学校に行けるというのが私は一番望んでいるんです。

○事務局 今計算してみたんですが、もえぎ野台一丁目、二丁目の6歳から11歳までで大体60人位います。

文小小学校で68人、特別支援学級4人、計72人いますので、平成36年度はそんなには変わらないと思います。

- 会 長 そういう意味からいったら平成35年度が妥当な分かれ目
かもれないですね。でも2年待ったとして、そしたら4人な
いし6人の中で学級にいた子ども達が、統合して大勢の子ど
も達の中に入ったら本当にショックが大きくなってしまって
不登校の子が生まれたり、その辺の問題が多く出てくるよう
な気がします。
- 委 員 1年生のことを考えるのであれば、1年間4人で生活して、
次の年になったら30人学級で生活しなければならなくなる
のであれば、最初のスタートの時点で統合されている方が1
年生はいいかなと思います。
- 委 員 4人からまた20～30人になると環境も変わると思いま
す。変わりすぎかなという感じはします。
- 会 長 幼い心に刺激与えたら大変ですよ。本当に不登校になって
しまいます。今の子ども達は、人間関係をつくることはでき
ないから、そういう風な状態をつくらせないようにというこ
とで適正規模・適正配置ということで、この委員会がつくら
れた訳ですから、こういう意見も出たけれどもというところ
で止めておきたいと思います。
- いろいろ意見が出ましたけれども、今日は非常に細かい資
料も出していただいて分かりやすい説明をしてもらったので、
まず一つは、統合する学校を布川小学校にしても文小学校に
しても、財政の問題でどちらを選んでも良いという風な答申
を私達は出したいと思うんですけどもいかがでしょうか。
- 委 員 最終決定は町の方でやるということですね。そしたら財政
的に楽な方になるのではないかと思います。本当に、利根町
の教育のことを考えていく会議だと思うんです。この会議の
現場の方が私達の意向を言っても、どちらでも良いような答
申したとするならば、多分町としては、財政的なことも考え
て、多分、布川小学校に決まる方が大きいと思うんです。今
までいろいろ出てきたこういった案というのを、ここにいら
っしゃる職員の方は聞いていますけど、その上の方が教育的
にどうなんだとこの検討委員会での話を理解して、そのうえ
で決めていただくのなら良いんですが、いろいろ出た意見、

一長一短の話を受けずに二つの案を出すのは、財政的に少ない方になるのかなというそういう懸念があります。

ここでのやり取りのことをちゃんと理解したうえで決めていただきたいと思っています。

○事務局 今、皆さんからのいただいた意見を、また、前回の会議で保護者のアンケートをとった方が良いとかそういう文言は、全て答申書の案には入れて作成したいと思います。そうでないとここで何が話し合われたかということが全然分からない答申になってしまいますので結果だけ載せるというような答申案にはいたしません。

この検討委員会で出た委員の皆さんの意見を吟味して、答申案に載せたいと思っています。

○委員 アンケートというのは結局とるのですか。

○事務局 教育委員会、町で統合の方針を決めるときには、保護者や教職員の方からアンケートをとって方針を決定していただきたいという様な文言を入れた答申案を作成します。

○委員 4人で複式学級になるからそれを避けたいので統合するのであればどの学校にしますかというようなアンケートになるのですか。

○事務局 適正規模・適正配置の観点からアンケートをとって小学校を1校にした方がよいと思っていますが、どうですかとか、その場合はどこがよいとおもいますかとか、教職員の方にもとるとか、今、思い浮かんだだけです、教育委員会は答申を受けて方針を決める訳なので、その方針に反映できるような形でアンケートをとりたいと思っています。

○委員 今の流れで考えると一つに合併するからというようなところでアンケートを持っていかないと、合併しない方がよいという風になってしまったら答申の話がなくなりますよね。

○会長 検討委員会の1回目か2回目あたりでアンケートという言葉が出ていまして、アンケートをとってもし反対が多かった

ならば、この話は進まないと思ったので、検討委員会の議論の段階ではアンケートはとりたくなかった。だから、あえて出さなかったんです。でも私達がこういう風な議論をして答申し1校に絞った方が良いという意見を仮に出したとしたら、それに対してアンケートをしてもらえば良いと思います。

○会 長 他にありませんか。

○委 員 いろいろな意見が出たんですが、跡地利用のことでよろしいでしょうか。

利根町は通過する町だと私は思っていて、栄橋の通り（千葉・竜ヶ崎線）がメインの通りなので、それを考えると路線ずれてしまいますが、文小学校在一番メイン通りから近いのかなというのがあって、例えば道の駅とか町の人達が何か出して集える場所、利根町を通過する人達を集客できるような場所、そういったようなものに利用できる場所として布川小学校と文小学校を比べたときに利用しやすいのは、そういう風に考えると文小学校の方が外部からの人とかも集めやすいのかなという風に考えたので、そうなってくると消去法で統合するなら布川小学校の方がいいのかなという私の勝手な視点があります。

栄橋に繋がる通りをメインとするのであれば、旧東文間小学校というのは、やはり距離があってなかなか難しいかなというのがありまして、文小学校であれば、一本入れば近くに公民館、福祉センター、図書館もありますから、利用しやすいのではないかと思います。

○会 長 貴重な意見ありがとうございました。今、跡地という問題の中で道の駅というのはすごく活性化が図れていいかもしれません。そういう跡地のことも考えて布川小学校が良いなということですね。有難うございます。

後はどうでしょう時間もきたので。

それでは、今までの話の内容を十分吟味して私達としてはどちらか一つに決めたかったけれどもそういう財政の問題があるならば、こことここという答申の内容の案を出していきたいと思いますがいかがですか。

